家庭学習のこつ伝授

親の「勉強しなさい」必要

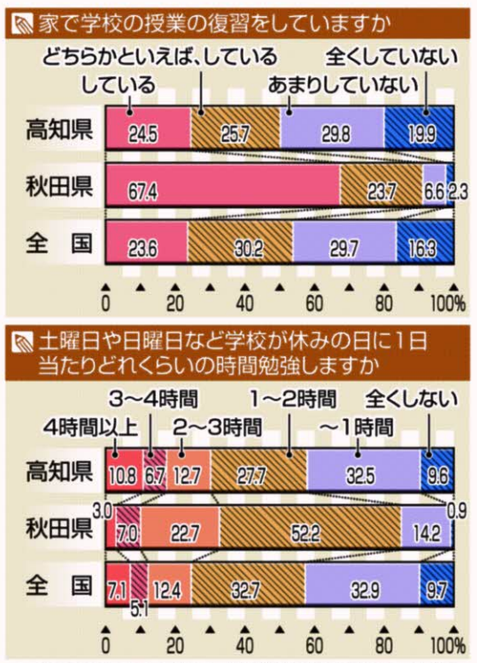
保護者の皆さん、家でお子さんに「勉強しなさい」って言ってますか？ これ、子どもが勉強に向かうためには必要な言葉です。言ってもやらない、ということもあると思いますが、諦めずに言い続け、勉強しないといけないという意識を持たせてあげてください。

理想は、子どもと勉強の計画を話し合い、今日どれだけ頑張るかを、子どもに宣言してもらうこと。例えば、今から何分勉強するのか、何問、何ページ頑張るかといった目標を子どもの口から言ってもらう。すると、達成できた子どもは、とてもいい気持ちになれます。おうちの人は、立てた目標に向けて「頑張ろう」と励ましながら、勉強したノートなどを見てあげてください。

残念ながら、高知県の子どもたちは、学習習慣が定着しているとは言えません。〈表〉は小学6年生のデータですが、例えば土日に毎日1時間以上勉強する子は全国平均よりも少なく、上位の秋田県とは大きく違います。

復習については、もっと顕著です。全く復習しない子が全国平均以上に多く、復習している子は秋田の子の半分以下。同じ小6生、そんなに違わないと思うんですが…。

中学に進んだ後の高校入試では、習ったことしか出ません。できる子とできない子の違いは、繰り返し勉強したかです。もっと簡単に言うと、どれだけの時間勉強したかの差。それを見据えて、僕は学年×15分の家庭学習時間を目標にしてほしいと思っています。最初は苦痛かもしれないけれど、慣れてきて長時間勉強できるようになれば、きっと違いが生まれます。



※ 2017年度全国学力・学習状況調査(児童・公立)から。その他、無回答は除く

家庭教育プロデューサー 酒井勇介さん 高知で講演

夏休み。子どもたちは学校での授業から解放されるひとときですが、生活リズムが変わることで日々の学習習慣が途切れがちになる時期でもあります。

夏休みに限らず、家庭学習の積み重ねは学力アップへの近道。とはいえ、家では集中して勉強できないという子どもたちも多くいます。どうすれば、家で自然と勉強に取り組めるのでしょうか。

そのこつを教えてくれたのが、家庭教育プロデューサー、新聞学習プランナーなどの肩書を持つ酒井勇介さん(56)。7月15、16の両日、土佐市と高知市の2会場で開かれた講演会「家庭で身に付けたい学習習慣と教科別勉強法」(高知新聞社、高新会主催)で、約500人の親子連れらに、家庭での学習習慣化の重要さや、知的好奇心を刺激する会話のこつ、学習効果を高める新聞の活用法などを説明してくれましたので、その内容を紹介します。

(高本浩史)

2日間で約500人が耳を傾けた講演会

家庭での学習の習慣化などについて話す酒井勇介さん
(写真はいずれも7月16日、高知市の「かるぽーと」)

さかい・ゆうすけ 1962年兵庫県生まれ。早稲田大学教育学部卒。86年株式会社学習研究社(学研)に入社し、乳幼児・児童教育分野の商品企画などを担当。その後独立し、家庭教育プロデューサー、新聞学習プランナー、教育住宅コーディネーターとして活躍中。株式会社エデュピーチ代表取締役。

メモを取りながら熱心に聴き入る親子連れら

午前中に苦手教科
暗記は寝る直前に

学力は、遺伝するものではありません。生まれてからの教育が大事で、特に大切なのが、環境と習慣です。

まずは習慣。勉強は、きちんと決めて続けることが大切ですが、生活全体のリズムが乱れてくると学習習慣も乱れます。なので、夏休み中も朝起きる時間、朝食の時間などをきちんと決めて、しっかり守るようにしてください。

夏休みの家庭学習は、午前中にするのがベスト。それも苦手な教科から順にやるようにしてください。脳は使っているうちに疲れてくるので、最初に勉強したことの方がよく頭に入ります。夏は比較的涼しく、頭がフレッシュな朝の時間に勉強すると、効率良く学べます。

また、暗記は寝る直前にやるのがお薦めです。暗記帳をめくったら何もせず、すぐに寝る。朝起きたら、もう一度暗記帳を見て確認する。これで、かなり頭に入ります。中学生になると暗記が増えますので、覚えておいてください。

そして環境。小学生に一番いい勉強場所はリビングです。リビングは、家族が何をしているか見え、自分が何をしているか見てもらえるので、子どもにとって最も落ち着く場所なんです。だからリビングにランドセルを置け、勉強できる空間にしてあげてください。声も掛けてあげて、頑張って勉強していることをほめてください。

そして、勉強する時の姿勢も大事です。背を丸めて机に向かって書いていると、呼吸がしづらくなり、脳にきちんと酸素が届きません。息がしやすいよう、背を伸ばして勉強しているか、気に掛けてあげてください。

新聞で判断・速読力磨こう

皆さんにやっていただきたいのが新聞の活用。毎朝、3分でいいので、新聞をぱらぱらっとめくらせてあげてください。そして今日のニュースを題材に話し掛けてください。うちの息子はそうすることで、高校生になったら国際情勢の問題なども、すらすらと語れるようになりました。

今、地球上ではいろいろな出来事が交錯しています。国際紛争だったり、学校でのいじめ問題だったり。人は、一人だけでは平和に暮らすことはできません。だからこそ必要なのが判断力です。

新聞には、子どもたちが判断力を身に付けるための材料がたくさん載っています。世の中の話題を語り合うことは楽しいことなので、ぜひ毎日続け、判断力を育んであげてください。

例年、全国学力・学習状況調査では、新聞をよく読む子は平均正答率が高いという結果が表れています。新聞にはたくさんの文字、言葉、文章があり、言葉の意味を知るだけでなく、長文を速く読む訓練にもなります。速く読めれば、テストの時も余裕が生まれます。「間に合わなかったけど、ちゃんと読めてたら解けてた」ということをなくす上でも、新聞などで文を速く読むことを意識してみてください。

新聞を読む児童生徒の割合と、テストの平均正答率

小学校 新聞を読む頻度	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
ほぼ毎日読んでいる	78.8%	62.6%	72.8%	62.3%	67.1%
週に1～3回程度読んでいる	76.3	60.3	69.2	58.4	64.9
月に1～3回程度読んでいる	72.4	56.3	64.9	53.2	61.5
ほとんど、または、全く読まない	68.4	52.4	61.2	48.7	58.4

中学校 新聞を読む頻度	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
ほぼ毎日読んでいる	80.7%	67.6%	74.1%	56.5%	72.6%
週に1～3回程度読んでいる	80.3	66.8	72.8	54.8	71.9
月に1～3回程度読んでいる	77.9	63.3	68.8	50.0	68.6
ほとんど、または、全く読まない	75.6	60.5	65.1	45.8	65.1

※2018年度全国学力・学習状況調査から

クイズで考える習慣を

子どもたちが楽しく学ぶのに、ぴったりなのがクイズです。問題はどんなことでも構いません。例えば「今日のサラダ、何種類の野菜が入ってる？」でもOKです。「キャベツとレタス、何が違う？」とか、聞かれたら考えて、調べてみたくなりますよね。そういう「考える習慣」付けとして、クイズはおすすめです。

マカロニに穴が開いているのはなぜか分かりますか？ これ、昔アラビアの商人が砂漠を旅する時に調理しやすいように小麦粉を水で練って乾燥させて持って行こうとし、早く乾燥するように穴を開けたという説があります。こんなクイズで一つでも、何のために何をどうするかなんてことを知ることができます。実はこうしたことを学ぶのが、今後学校で行われるプログラミングの授業です。

また、クイズは世の出来事や人々の考え方を学ぶのにも使えます。例えば新聞に載っている外国の首脳の写真をちぎって見せて、「これ誰だ？」でいい。そこから、これは誰か、何をしている人かなど、いろんなことを調べ、考え、学ぶことができますよ。

学習ノート無料配布中
ワークシート5種収録

酒井さんもお薦めする新聞を活用した家庭学習の助けにと、高知新聞社と高知新聞販売所はこのほど、5種類のワークシートをまとめた「しんぶん学習ノート」(B5判、62ページ)を作製し、配布しています。

収録しているワークシートは、県内ニュース記事から5W1Hを探したり市町村の位置などを調べたりする「高知を調べよう」、同様に国内ニュースで都道府県について調べたりする「日本を調べよう」、気になった写真から読み取れることや感想などを記す「写真を読み解こう」、4こま漫画にタイトルを付け感想を記す「まんがを読み解こう」、前日の気温について調べてまとめる「天気を記録しよう・気温をグラフにしてみよう」の5種類。

ノートは無料で、最寄りの高知新聞販売所でお配りしています。問い合わせは高知新聞社地域読者局(088・825・4025)まで。

配布中の「しんぶん学習ノート」

高岡高新文化教室◆特別講座◆受講生募集

新感覚のインテリア雑貨

好評につき追加決定!

ハーバリウムのある癒やしの暮らしを始めませんか?

お好きな花材を選んで、オリジナルハーバリウムを作りましょう。作り方はとってもシンプルなので、初めての方でも中に入れる花の選び方や、素材感の組み合わせでいろいろなバリエーションが楽しめます。

＊＊＊ハーバリウムとは＊＊＊
ドライフラワーやプリザーブドフラワーを瓶に詰め込み専用のオイルに浸す「植物標本」です。光が差し込む窓際では、可愛さが倍増。約1年間、お手入れ不要で長くお花を楽しむことができます。

＊日　時　8月26日(日) 10:30～12:00、15:00～16:30
※ご希望の時間をお選びください。
＊講　師　井上 吏絵、市村 多絵
FRANGIPANI　ハーバリウムコーディネーター(ディプロマ取得)
＊受講料　1,500円
＊定　員　各10人
＊材料費　実費　3,500円 ※当日徴収します
〔ボトル2本(コーン型、スクエア型)、花材、オイル、お持ち帰り専用袋〕
※道具(ハサミ・ピンセット)は貸し出しします
＊教室場所
étang lotus(エタン ロータス)
(土佐市蓮池685　女性専用スタジオ ヨガシャーラ蓮池1階)
※駐車場あり

(左)スクエア型　約17×4cm
(右)コーン型　約18×5cm

お申し込み お問い合わせ　高新文化教室 ☎088-825-4322 日曜・祝日を除く 9:30～18:15
高知市本町3-3-39(RKC高知放送南館4階)　ホームページ http://www.kochi-sk.co.jp/bunka

心つなぐ新聞

こども高知新聞「読もっか」には、県内の小学生から「こども記者だより」が毎日届きます。

お礼の手紙
土佐清水市清水小5年　原 彩奈

6月3日の高知新聞「読もっか」に、弟の「こども記者だより」がのりました。

わたしにえらそうに言ったり、けんかで弟が悪い時でも、なぜか、わたしがお母さんにおこられてしまったりしている、という内容です。でも弟は、「お姉ちゃんみたいにやさしくなりたい」と書いていて、おどろきました。

弟の気持ちが、とてもうれしかったです。少しはずかしいけど、姉弟っていいなあと思いました。

わたしも、弟のいいところを伝えたいと思います。弟は、足は速いし、字もきれいです。一番いいところは、やっぱり、やさしいところです。学校帰りに、おじいちゃんの家に行っています。おじいちゃんに対して、えらそうなところもある弟ですが、ちょっとした時にかける言葉が、やさしいなと感じることがあるのです。

わたしには、できないような気がします。弟の記者だよりは、わたしの宝物になりました。

これからも、お母さんにおこられることがあると思うけど、かわりにおこられてもいいかなぁと思いました。

創太、記者だよりを書いてくれてありがとう。これからも仲良くしようね。

はじめて新聞にのった
土佐清水市清水小3年　原 創太

6月3日の高知新聞「読もっか」に、はじめて、ぼくの書いた「こども記者だより」がのりました。

金曜日、先生から「日曜日に創太くんのが新聞にのるので」と言われたので、とてもびっくりしました。ぼくは、(早くみたいな。でも、ほんまにのるがやろうか?)と、どきどきしながらまっていました。

日曜日の朝、お母さんが「創太の、新聞にのっちょうで」と言いました。本当にぼくの記者だよりがのっていました。うれしかったです。

また、記者だよりを書きたいです。それと、この記者だよりは、お姉ちゃんとのけんかのことなどを書いて、お姉ちゃんの名前も出ているので、6月3日の新聞をたから物にして、大切にします。